

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千二號

海軍大臣官房

昭和十三年九月一日(木)

○令 達

官房第三一五七號ノハ  
陸軍運輸部ヨリ受領ノ大發動艇十隻ヲ雜役船ニ編入シ

共ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年九月一日

海軍大臣

船種	公稱番號	所屬	定數	別記
特型運貨船	第三四九九號	佐世保防備隊 (第三防備隊供用)	臨時附屬	陸軍運輸部ヨリ受領ノモノ
同	第三五〇〇號			
同	第三五〇一號			
同	第三五〇二號			
同	第三五〇三號			
同	第三五〇四號			
同	第三五〇五號			
同	第三五〇六號			
同	第三五〇七號			
同	第三五〇八號			

海軍公報(部内限) 第三千二號 昭和十三年九月一日

一〇二七

0790

廢

官房第四四七〇號 昭和十三年官房廢止ニシテ本號廢止  
 警分ノ間中華民國在勤帝國大使館附武官、臨時海軍特務部、上海駐在主任科士官事務所及上海海軍軍需品供給所ニ要スル經費(上記各所ニ勤務スル支那方面艦隊第三艦隊司令部附立ニ同囑託ノ給與ヲ含ム)ハ上海駐在武官タル第三艦隊司令部附首席主任科士官ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和八年官房第五二三八號ハ之ヲ廢止ス (通)  
 昭和十三年九月一日 海軍大臣

○通牒

官房第四四一七號ノ四  
 昭和十三年九月一日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコトト御了知相成度

記

- 一、報國第二二二號(北國號)
  - 機種 艦上戦闘機
  - 座席 一
  - 全幅 一一・〇米
  - 全長 七・五米
  - 全高 三・〇米
- 二、寫真撮影 禁止

軍務一第一五七號

昭和十三年八月三十一日

海軍省軍務局長

各鎮守府 參謀長殿  
 各要港部

第四豫備艦船準備ニ關スル件申進

大正十年十月二十七日官房第三七二〇號首題ノ件ハ豫備艦船規則第六條ノ二ニ依リ陸揚又ハ還納スベキ物件一般ニ付適用セラレ差支ナキ義ト了知相成度

(參照) 別紙

官房第三七二〇號(海軍公報(部内限)第五百八號掲載)  
 大正十年十月二十七日

海軍次官

0791

各鎮守府 參謀長殿  
各要港部

第四豫備艦船準備ノ件

第四豫備艦船ニ指定セラルヘキ艦船ハ豫定指定期日前一箇月以内適當ノ時期ニ於テ火工品ヲ揚陸還納スル等必要ナル諸準備ニ着手セシメラレ差支無之候右依命申進ス

經豫第七號ノ一七九

昭和十三年八月三十日

海軍省 經理局長

各廳長殿

金使用制限協力方ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省理財局長ヨリ通知有之候條可然御取計相成度

(別紙)

藏理第一五五〇號

昭和十三年八月二十日

大藏省理財局長 大野 龍太

海軍省 經理局長 武井 大助殿

金使用制限協力方ニ關スル件

我國物資需給ノ狀況、國際收支ノ推移ニ顧ミ金ノ使用制限ヲ強化シテ國內ニ於ケル金ノ消費ヲ一層節減スルノ要有之今般金使用規則ヲ改正シ八月二十日之ヲ公布即日施行相成候ニ付テハ民間ニ於テハ相當ノ節減ヲ見ルベキモノト思料セラレ候條官廳ニ於テハ法令ニ依リ製造ヲ要スルモノニ付テモ此ノ際必要已ムヲ得ザルモノノ外ハ極力節減ニ協力相煩度、尙貴廳關係者ニ可然御示達相成度此段得貴意候也

追テ金使用制限ノ對象トナルベキモノハ純金、金合金、金銀、潰金、金張地金、金箔、金絲、金粉、金液、金鍍金液又ハ金化合物竝ニ此等ヲ用ヒタル製品ノ製造(第一條參照)及物ノ加工及修繕ノ爲ニ金ヲ使用スルコト(第三條參照)ニ有之候條申添候

經豫第五號ノ三五五

昭和十三年九月一日

海軍省 經理局長

關係各廳御中

甲種飛行豫科練習生志願者タル航空兵ノ

入隊時検査線上ニ付テ旅費ノ件通牒

本年一月經豫第五號ノ三〇ヲ以テ通牒(昭和十三年一

海軍公報(部内限)第三千二號 昭和十三年九月一日

一〇二九

0792

月三十一日海軍公報(部内限) 參照)ノ首題ノ件ハ自今當分ノ間右通牒ニ依リ取扱フベキ儀ニ有之候爲念

○辭令

臺灣總督府交通局書記 小林 謙一  
海軍ニ於ケル軍事郵便事務囑託ノ報酬トシテ金貳拾五圓ヲ贈與ス  
海軍ニ於ケル軍事郵便事務囑託ヲ解ク

同 青木 松次郎  
海軍ニ於ケル軍事郵便事務ヲ囑託ス(此旨海軍省)

勳六等 中島 有恒  
第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス  
但シ報酬年額貳千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(此旨同)

新里 榮造  
支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

穂刈 喜作  
猿 渡 博  
佐藤 武雄

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限列任官待遇トス  
渡部 望  
中原省一

自今報酬年額千八百圓ヲ給ス(以上旨同)  
囑託 小島 幸治  
臨時海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス  
正五位勳六等 片山 活三  
從五位 福田 耕

臨時海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上旨同)  
海軍主計大尉 若月 榮松

軍艦筑摩艦裝具ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(此旨支出官海軍省經理局長)

○雜款

○司令驅逐艦變更  
第十一驅逐隊司令ハ八月三十一日司令驅逐艦ヲ吹雪ヨリ初雪ニ變更セリ

○司令驅逐艦一時變更

第二十五驅逐隊司令ハ八月三十日司令驅逐艦ヲ一時大潮ヨリ朝潮ニ變更、同日復歸セリ

○司令潜水艦一時變更  
第十九潜水隊司令ハ八月二十九日司令潜水艦ヲ伊號第五十七潜水艦ヨリ伊號第五十六潜水艦ニ變更セリ

○司令艇復歸  
第十一水雷隊司令ハ八月三十日司令艇ヲ鷺ヨリ鳩ニ復歸セリ

○軍艦大非行動豫定

地名	着	發
吳豫灘	八月三十一日	八月三十一日
吳下庄	九月二日	九月二日
安下庄	九月六日	九月六日
德下庄	九月七日	九月七日
吳下庄	九月九日	九月九日
安下庄	九月十三日	九月十三日
德下庄	九月十四日	九月十四日
吳下庄	九月十六日	九月十六日
安下庄	九月二十日	九月二十日
德下庄	九月二十一日	九月二十一日
吳下庄	九月二十三日	九月二十三日

海軍公報(部内限)第三千二號

昭和十三年九月一日

一〇三一

0794

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○ 九月一日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、八雲、長門、木曾

▽ 曉、漣、狹霧、響、雷、電、夏雲

掃二

富士、室戸

(飛龍)、(劍崎)、(高崎)

【長 浦】

旗風、春風、秋風、羽風、朝雲、峯雲、山雲、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六、呂五八、伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風、掃五、掃六

【浦 賀】

夕風、(霞)、(不知火)、(掃八)

【館 山】

澤風

【神社沖】

陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂、由良、鬼怒、迅鯨、鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、神通、阿武隈、蒼龍、龍驤

▽ 龍、曙、潮、天霧、夕霧、朝霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、陸月、彌生、如月

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二

【大 湊】

早苗、鳴戸、間宮、攝津

【函 館】

若竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、最上、古鷹、加古

夕顔、吳竹、菊、葵、萩、磯波、浦波、敷波、綾波、吹雪、矢風

呂三一、呂三三、呂三六、呂二七、呂二八、呂三三、呂三四、伊五一、伊五三、伊五五、伊七一、伊六五、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊一二一、伊一二二、伊七四

【神 戸】

石廊

【相 生】

襟裳、早鞆

【玉】

(掃七)

【因ノ島】

朝風、松風

【江田内】

平戸

【安上庄】

大井

0795

【佐伯】 卯月  
舞鶴 吾妻、高雄、長鯨、愛宕

【佐世保】 檫名、那智、北上、磐手、名取、常磐、(蔽)

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕈、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、滿潮、朝潮、荒潮、文月、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、伊六六、伊六七

【長崎】 敷島、野島、尻矢、(明石)

【鎮海】 羽黒、佐多、(利根)、(筑摩)

【サイパン】 膠州、葦、柿、楡

【作業地】 出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、巖島、八重山、白鷹、川内、足柄、沖島、球磨

【航海中】

隠戸 (八月二十六日「オ」發—徳山へ)  
赤城 (八月三十一日佐世保發—横須賀へ)

口妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、神威、能登呂、駒橋、勝力、栗、梅、連、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、水無月、長月、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、菱、島風、汐風、灘風、臯月、沖風、野風、沼風、波風、隼、鶴、鴨、鴻、初雁、千鳥、友鶴、真鶴、鳩、鷺、雉、掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、朝日、洲崎、鶴見、知床

0796

# 海軍公報 (部内限) 第三千三號

昭和十三年九月二日(金)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第二一六〇號ノ三  
臨時軍事費特別會計歳入科目中左ノ通追加ス

昭和十三年九月二日

海軍大臣

款	項	目	節	解	疏
(軍資金)	(軍資金)	(特別收入)			會計科目 電信略號
			中支那無線電 信運替收入		キ五

官房機密第四八〇六號

昭和十二年官房機密第三二二一號中「航空八五揮發油  
又ハ航空八七揮發油」ヲ「航空八五揮發油、航空八七  
揮發油又ハ航空九二揮發油」ニ改ム

昭和十三年九月二日

海軍大臣

官房第四四九四號

提 嬰

當分ノ間事變地ニ於ケル艦船部隊及特設艦船部隊ニ於  
テ臨時貸與中ノ左記艦營需品ヲ毀損シタルトキハ緊急  
已ムヲ得ザル場合ニ限リ艦營需品經理規程第二十條ニ  
準ジ直買豫算外ヲ以テ修理スルコトヲ得

昭和十三年九月二日

海軍大臣

自 轉 記

## ○辭 令

通信書記 米村 鶴治

海軍公報(部内限) 第三千三號 昭和十三年九月二日

一〇三五

0797



海軍公報(部内限) 第三千三號 昭和十三年九月二日

一〇三六

第一海軍軍用郵便所所員ヲ免ス(海軍省)

海軍中將 杉坂悌二郎

海軍省事務ヲ囑託ス(海軍省)

0798

○艦船所在

指印ハハホ  
定ヲ要セズ

○九月二日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、八雲、長門、木曾

沖風、薄雲、叢雲、東雲、陸月、彌生、如月

浦賀

石川島

横濱

浦賀

館山

神社沖

龍驤

薄雲、叢雲、東雲、陸月、彌生、如月

龍驤

浦賀

横濱

石川島

浦賀

館山

神社沖

龍驤

薄雲、叢雲、東雲、陸月、彌生、如月

龍驤

浦賀

横濱

石川島

浦賀

館山

神社沖

龍驤

薄雲、叢雲、東雲、陸月、彌生、如月

龍驤

浦賀

横濱

0799

【大湊】

早苗、鳴戸、間宮、攝津

【函館】

若竹

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、最上、古鷹、加古

夕顔、吳竹、萩、葵、萩、磯波、浦波、敷波、綾波、吹雪、矢風

呂五二、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、呂三三、呂三四、伊五一、伊五三

伊五五、伊七一、伊六五、伊五六、伊五七、伊五八、伊七七、伊七三、伊一二一、伊一二二、伊七四

石廊

神戶

瑞穂、伊八、伊七五、伊一六

相生

襟裳、早鞆

玉

因ノ島

朝風、松風

江田内

平戸

江田内

平戸

江田内

平戸

江田内

平戸

江田内

平戸

江田内

平戸

江田内

平戸

【徳山】 隠戸

【佐伯】 卯月

【舞鶴】 吾妻、高雄、長鯨、雲岩

【伊五二】 初雪、白雪、帆風

(蔽)

【佐世保】 榛名、那智、北上、磐手、名取、常磐

▷千歳

梨、竹、榎、桃、柳、檜、葦、夕風

朝風、若葉、初霜、子日、初春

▷大潮、満潮、朝潮、荒潮、文月、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇

呂六一、呂六二、呂六四、呂六五

呂六七、呂六八、呂六三、伊六六

伊六七

雁 敷島、野島、尻矢

(明石)

【長崎】 羽黒

佐多

(利根)、(筑摩)

【鎮海】 萩、柿、楡

【サイパン】 膠州

【作業地】 出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、墜田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、八重山、

【航海中】

赤城 (八月三十一日佐世保發—横須賀)

大井 (二日安下庄發—吳)

白鷹、▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、▷神威、能登呂、駒橋、勝力

栗、梅、進、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、葛、藤、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、望月、三日月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、菱、▷島風、汐風、灘風、阜月、▷野風、沼風、波風

▷隼、鶴、鴨、鴻、▷初雁、千鳥、友鶴、真鶴、▷鳩、鷺、雉

▷掃一、掃三、掃四、▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、洲崎、鶴見、知床

# 海軍公報

(部内限) 第三千四號

昭和十三年九月三日(土)

海軍大臣官房

## ○令達

官房機密第二五七七號ノ五

臨時軍事費整理規程中左ノ通改正ス

昭和十三年九月一日

海軍大臣

公文提要

第二條第四號(三)中「第三」ノ下ニ「第四、第五」ヲ、「食料」ノ上ニ「糧食費、」ヲ、第八號(二)及(三)中「雜給及雜費」ノ上ニ「艦管需品、燃料、保管運搬費並ニ」ヲ加フ

(限)

内

部)

公文提要

官房第四五一四號  
支那事變ニ關シ海軍戰時給與規則ノ適用ヲ受クル艦船部隊(特設艦船部隊ヲ含ム)ニ於テ夜食ヲ給スル場合ノ麵麩及白砂糖ハ麥粉二五瓦、白玉粉一五瓦、豆四〇瓦及黃双四五瓦ニ換給スルコトヲ得  
昭和十三年九月一日  
海軍大臣

## ○通牒

經物第三二五號

昭和十三年九月二日

海軍省 經理局

關係各廳御中

前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知

本年三月經物第一〇六號ニ依ル首題ノ件左記ノ通承認  
致候

記

氏名	住所
株式會社大阪鐵管製造所 (前金拂ノミ)	大阪市此花區大開町四ノ四
廣島鐵管工業株式會社 (同)	廣島縣安藝郡府中町字名新地六〇四三ノ一
淺野セメント株式會社 (同)	東京市深川區清澄町一ノ八
豐國セメント株式會社 (同)	東京市麴町區丸ノ内一ノ六

海軍公報(部内限) 第三千四號 昭和十三年九月三日

一〇三九

0801

小野田セメント製造株式會社 (同右)	山口縣厚狹郡小野田町六二七六	飯野商事株式會社 (同)	京都府中舞鶴町字余部五九三
日本セメント株式會社 (同右)	東京市麴町區丸ノ内一ノ六	中央冷凍工業株式會社	東京市麴町區丸ノ内二ノ二
大阪窯業セメント株式會社 (同右)	大阪市北區堂島濱通二ノ一四	株式會社相模製作所	横須賀市若松町九二
宇部セメント製造株式會社 (同右)	宇部市大字小串一九七八ノ二	關東瓦斯株式會社	東京市芝區田村町一ノ一
日東セメント株式會社 (同右)	三原市糸崎町五三一〇ノ六	株式會社大和金屬工業所	東京市蒲田區糶谷町三ノ一
増岡登作 (同右)	吳市岩方通一ノ八	株式會社齋藤省三商店	東京市麴町區丸ノ内二ノ二
水野超倫 (同)	吳市本通一ノ一八		
梅林字十郎 (同右)	吳市西本通七ノ一二	○ 辭令	東京商科大學教授 太田 哲三
毛利利喜衛 (同右)	吳市岩方通三ノ七	海軍省事務ヲ囑託ス (請海軍省)	
石原丈吉 (同右)	吳市濱田町七ノ四	○ 雜款	
中川三郎 (同右)	吳市公園通二ノ六	○ 便乘者豫報ニ關スル件	事變地ニ向ケ多數ノ人員輸送ノ場合往々運送艦船ノ出港差迫リテ申越ノ向有之爲船艙制、荷役順序等輸送計劃上多大ノ支障ヲ來セル例不尠ニ付自今出來得ル限リ早期通知ノコトニ取計ハレ度 (佐世保鎮守府海上輸送班)
原島啓作 (同右)	吳市本通一二ノ三八		
合資會社中原組 (同右)	吳市青浦町四二〇〇ノ一〇		
藤内 登 (同右)	廣島縣賀茂郡廣村一二四二		
大澤 政 (同右)	廣島縣賀茂郡廣村一八二		

○艦船所在

▲印ハハカ  
指定ヲ要セズ

○九月三日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、八雲、長門、木曾、赤城

山曉、漣、狹霧、響、雷、電、夏雲、山雲、沖風

掃二

富士

(飛龍)、(劍埼)、(高崎)

【長浦】

旗風、春風、秋風、羽風、朝雲、峯雲、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六、呂五八、伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風

【横濱】

掃五、掃六

【浦賀】

夕風、(霞)、(不知火)、(掃八)

【館山】

澤風

【神社沖】

陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂、由良、鬼怒、迅鯨、鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、神通、阿武隈、蒼龍、龍驤

隴、曙、潮、天霧、夕霧、朝霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、睦月、彌生、如月

【大湊】

早苗、鳴戸、間宮、攝津

【函館】

若竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、最上、古鷹、加古、大井、夕顔、吳竹、菊、葵、萩、磯波、浦波、敷波、綾波、吹雪、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、呂三三、呂三四、伊五一、伊五三、伊五五、伊七一、伊六五、伊五六、伊五七、伊五八、伊七二、伊七三、伊一二一、伊一二二、伊七四、石廊

【神戶】

(千代田)、伊五四、呂五七、呂五九

【相生】

(瑞穂)、(伊八)、(伊七五)、(伊一六)、襟裳、早鞆

【玉】

(掃七)

【因ノ島】

朝風、松風、平戸

海軍公報(部内限)第三千四號

昭和十三年九月三日

一〇四一

0803

【徳山】 隠戸

【佐伯】 卯月

【舞鶴】 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

▽初雪▲、白雪▲、帆風

伊五二▲

(蔽)▲

【佐世保】 榛名▲、那智▲、北上▲、磐手、名取、常磐、

▽千歳

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、草▲、▽夕風▲、

朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、

▽大潮▲、満潮▲、朝潮▲、荒潮▲、文月、峯風

▽呂三〇▲、▽呂三一▲、▽呂三二▲、▽呂六〇▲、

▽呂六一▲、▽呂六二▲、▽呂六四▲、▽呂六五▲、

▽呂六七▲、▽呂六八▲、▽呂六三▲、▽伊六六▲、

伊六七▲

雁 敷島▲、野島、尻矢

(明石)▲

【長崎】 羽黒▲

佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】 葦、柿、楡

【サイパン】 膠州

【作業地】 出雲、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、熱海、二見、▽巖島、八重山、

【航海中】

室戸 (三日横須賀發—佐世保へ)

白鷹、▽川内、▽足柄、沖島、▽球磨、

▽妙高、多摩、▽天龍、龍田、▽長良、▽加賀、

▽神威、能登呂、駒橋、勝力

栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、

▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、

涼風、山風、▽水無月、長月、▽葛、薄

藤、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、

望月、三日月、▽追風、疾風、▽蓼、蓬

菱、▽島風、沙風、灘風、阜月、▽野風、

沼風、波風

▽隼、鵠、鴨、鴻、▽初雁、千鳥、友鶴、

真鶴、▽鳩、鷺、雉

▽掃一、掃三、掃四、▽掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、洲崎、鶴見、知床

0804

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

昭和十三年九月三日 (土)  
海軍大臣官房

官房第三六五六號

ノ五

昭和十三年新造雜役船ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年九月一日

海 軍 大 臣

船 種	公稱番號	所 屬	記 事			
			定 數 別	製 造 所	契 約 納 入 所	竣 工 期 日 入 備 考
飛行機救難船 (二百艘)	第一〇八九號	高雄海軍航空隊	定數補充	鶴見製鐵造船會社	橫須賀工廠	昭和十四年一月三十一日
同	第一〇九〇號	鈴鹿海軍航空隊	同	同	同	二月二十八日
同	第一〇九一號	麻里布海軍航空隊 (假稱)	同	同	同	六月十五日
動力船 (百五十艘)	第一〇九五號	佐世保海軍工廠	臨時附屬	川崎造船所	神戸港	同十三年十月三十一日
同	第一〇九六號	吳海軍工廠	同	同	同	同十四年六月三十日
同	第一〇九七號	橫須賀海軍工廠	同	同	同	同十四年八月三十一日

海軍公報 (部内限) 號外

0805



動力船 (百五十噸)	第五六號	舞鶴海軍工廠	臨時附屬	川崎造船所	神戸港	同 十月三十一日
滑走艇 (下九米五)	第五〇九號	佐世保防備隊 (第五〇九號同令部以外)	同	横須賀鎮守府司令官ニ訓令	同	同 九月十三日
同	第五二〇號	同	同	同	同	同
同	第五二二號	同	同	同	同	同
同	第五二三號	同	同	同	同	同
同	第五二四號	同	同	和歌山縣紀南鐵工業組合	新宮港	同
同	第五二五號	同	同	同	同	同
同	第五二六號	同	同	同	同	同
同	第五二七號	同	同	同	同	同
同	第五二八號	同	同	同	同	同
同	第五二九號	同	同	官房機密第三八五四號横須賀鎮守府司令官ニ訓令製造ノモノ	同	同

0806

(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千五號

海軍大臣官房

昭和十三年九月五日(月)

## ○ 辭 令

上田 正壽

臺灣總督府事務官 木原 圓次

同 西村 高兄

同 山岸 金三郎

同 細井 英夫

同 森田 民夫

臺灣總督府技師 原 庸藏

臺灣總督府文通局技師 大寄 雄次

臺灣總督府交通局副參事 青木 茂

第五艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(併海軍省)

氣象臺技師 北田 道男

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額貳千貳

百八拾圓ヲ贈與ス(併同)

海軍大佐 加藤 尙雄

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

二千六百年委員會委員ヲ命ス(併同)

海軍省事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト  
ス

松尾 克巳

海軍ニ於ケル造船業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇ト  
ス(以上併同)

海軍主計少佐 行藤 延生

臨時資金前渡官吏ヲ免ス(併同)支出官海軍省經理局  
長)

## ○ 雜 款

○ 旗艦變更

第一潜水戦隊司令官ハ九月四日旗艦ヲ迅鯨ヨリ伊號第  
七潜水艦ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦一時變更

第十五驅逐隊司令ハ九月二日司令驅逐艦ヲ一時薄ヨリ

海軍公報 (部内限) 第三千五號 昭和十三年九月五日

一〇四三

0807

葛ニ變更セリ

○特設運送船朝光丸行動豫定

地名	着	發
横須賀	九月十一日	九月十七日
大阪	十九日	二十二日
吳	二十三日	二十五日
西戸崎	二十六日	二十八日
鎮海	二十九日	十月三日
鎮南浦	十月五日	十月十二日

○郵便物發送先

軍艦常盤宛

自今

佐世保海軍港務部氣付

軍艦駒橋宛

九月十日

日迄ニ到達見込ノモノハ

馬公 横須賀

軍艦迅鯨宛

九月五日

日迄ニ到達見込ノモノハ

横須賀 佐世保

特務艦膠州宛

自今

横須賀

特設運送船朝光丸宛

九月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀  
 同 二十四日迄ニ 同 吳  
 同 二十七日迄ニ 同 福岡縣西戸崎  
 十月二日迄ニ 同 鎮海  
 其ノ後ハ 鎮南浦

○事務所設置

軍艦飛龍艦裝具事務所ヲ横須賀海軍工廠内ニ設置シ八月十三日ヨリ事務ヲ開始セリ  
 (電話 横須賀海軍工廠交換六二番)

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲  
定ヲ要セズ

○九月五日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張▲鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲

▷八雲、長門▲、木曾、赤城、大鯨

▷曉▲、漣▲、狹霧▲、響▲、雷、電▲、夏雲、

山雲、沖風

掃二

富士▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】 旗風、春風、秋風、羽風、朝雲、峯雲、

神風

▷伊一四、呂五五、呂五六、呂六六、呂五八、

▷伊一二三、伊一二四

【石川島】 太刀風▲

【横濱】 掃五▲、掃六▲

【浦賀】 夕風▲

(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】 澤風▲

【神社沖】 陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂、

由良、鬼怒、鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、

三隈、神通、阿武隈、蒼龍、龍驤

▷朧、曙、潮、天霧、夕霧、朝霧、白雲、

薄雲、叢雲、東雲、睦月、彌生、如月

▷伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、

▷伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、

▷伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、

伊六一、伊六二

鳴戸、間宮、攝津

【大湊】 野風、沼風、波風、早苗

大泊

【函館】 若竹▲

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、

淺間、扶桑、最上、古鷹、加古、大井、

夕顔、吳竹、菊、葵、萩、磯波、浦波、

敷波、綾波、吹雪、矢風

▷呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、

▷呂三三、呂三四、伊五一、伊五三▲

▷伊五五、伊七一、伊六五、伊五六、

▷伊五七、伊五八、伊七二、伊七三、

▷伊一二一、伊一二二、伊七四

石廊

(千代田)▲

【神戶】 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲(伊一六)▲

【相生】 襟裳▲、早鞆▲

【玉】 (掃七)▲

【因ノ島】 朝風▲、松風▲

【江田内】 平戸▲

0809

【佐伯】 卯月

【舞鶴】 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

▽初雪▲、白雪▲、帆風

伊五二▲

(霞)▲

【佐世保】 榛名▲、那智▲、北上▲、磐手、名取、常磐、

▽千歳

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽夕風▲

朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

▽大潮▲、滿潮▲、朝潮▲、荒潮▲、文月、峯風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六五▲

呂六七▲、▽呂六八、呂六三、▽伊六六▲

伊六七▲

雁▲

敷島▲、野島

(明石)▲

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】

▽葦、柿、楡

【作業地】

▽出雲、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、熱海、二見、▽殿島、八重山、

白鷹、沖島、▽川内、▽足柄、▽球磨、

▽妙高、多摩、▽天龍、龍田、▽長良、▽加賀、

【航海中】

室戸 (三日横須賀發—佐世保へ)

迅鯨 (四日伊勢灣發—横須賀へ)

膠州 (四日「サイパン」發—横須賀へ)

隠戸 (五日徳山發—吳へ)

▽神威、能登呂、駒橋、勝力

栗、梅、連、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、

▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、

涼風、山風、▽水無月、長月、▽葛、薄、

藤、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、

望月、三月月、▽追風、疾風、▽蓼、蓬、

菱、▽島風、沙風、灘風、皐月

▽隼、鶴、鴨、鴻、▽初雁、千鳥、友鶴、

真鶴、▽鳩、鷺、雉

▽掃一、掃三、掃四、▽掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、洲埼、鶴見、知床、尻矢

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千六號

海軍大臣官房

昭和十三年九月六日(火)

## ○ 通 牒

官房第四四一六號ノ三

昭和十三年九月六日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ

關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコトト御了知  
相成度

記

一、要目發表範圍

(イ) 報國第二二六號(第一平南號)

報國第二二七號(第二平南號)

報國第二二八號(第三平南號)

機種 艦上爆撃機

座席 二

全幅 一一・四米  
全長 九・四米  
全高 三・九米

(ウ) 報國第二〇七號(第一朝鮮米穀號)

報國第二〇八號(第二朝鮮米穀號)

機種 水上偵察機

座席 二

全幅 一一・〇米

全長 八・五米

全高 四・〇米

二、寫真撮影禁止

經契第三號ノ四四〇ノ二

昭和十三年九月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

陸上照明用タンクスラン電球購買合併

契約書更改ノ件通牒

海軍公報(部内限) 第三千六號

昭和十三年九月六日

一〇四七

0811

電球古口金有効利用ノ見地ヨリ今般首題ノ件ニ關シ左記ノ通東京電氣株式會社ト更改契約締結致候條左ニ依リ處理相成度

記

一三契雜第一號ノ二

更改契約書

昭和十三年四月一日附海軍省經理局長村上春一ト東京電氣株式會社取締役社長山口喜三郎トノ間ニ契約締結セル一三契雜第一號陸上照明用タングステン電球購買契約書中第一條ヲ左ノ通更改ス

第一條 乙ハ昭和十三年四月一日以降昭和十四年三月三十一日ニ至ル期間海軍各廠ノ註文ニヨリ別紙記載單價ヲ以テ本品ヲ供給スルモノトス但シ古電球口金官給ノ場合ニハ一個ニ付金四厘也ヲ減額スルモノトス右更改契約ヲ證スル爲メ本書二通ヲ作り各自記名捺印シテ各其ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年九月一日

海軍省經理局長 武井大助

東京市京橋區銀座西五丁目二番地

東京電氣株式會社

取締役社長 山口喜三郎

○辭令

總務部第一課勤務ヲ命ス(請海軍航空本部) 海軍少佐 寺田美佐男

技術部第二課勤務ヲ命ス 海軍機關大佐 松笠 潔

兼技術部第一課勤務ヲ命ス(以上請同) 海軍機關中佐 木多 伊吉

○雜款

○懲罰

懲罰言渡書

海軍公報（部内限）第三千六號

昭和十三年九月六日

一〇四九

0813



海軍公報(部内限) 第三千六號 昭和十三年九月六日

一〇五〇

0814

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月六日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、風翔、五十鈴、山城、春日、  
八雲、長門、木曾、赤城、大鯨、迅鯨、  
曉、漣、狹霧、響、雷、電、夏雲、  
山雲、沖風

掃二

富士

(飛龍)、(劍埼)、(高崎)

【長浦】

旗風、春風、秋風、羽風、朝雲、峯雲、  
神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六、呂五八、  
伊一二三、伊一二四

石川島

太刀風

掃五、掃六

浦賀

(霞)、(不知火)、(掃八)

館山

澤風

【神社沖】陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂、  
由良、鬼怒、鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、  
三隈、神通、阿武隈、蒼龍、龍驤、  
隴、曙、湖、天霧、夕霧、朝霧、白雲、  
薄雲、叢雲、東雲、睦月、彌生、如月

【大湊】

野風、沼風、波風、早苗、  
間宮、攝津、  
大泊

【函館】

若竹、  
矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、  
淺間、扶桑、最上、古鷹、加古、大井、  
夕顔、吳竹、菊、葵、萩、磯波、浦波、  
敷波、綾波、吹雪、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、  
呂三三、呂三四、伊五一、伊五三、  
伊五五、伊七一、伊六五、伊五六、  
伊五七、伊五八、伊七二、伊七三、  
伊一二一、伊一二二、伊七四

石廊、隠戸

(千代田)

神戶

伊五四、呂五七、呂五九、  
(瑞穂)、(伊八)、(伊七五)、(伊一六)

相生

襟裳、早鞆

玉

(掃七)

因ノ島

朝風、松風

江田内

平戸

【佐伯】 卯月  
吾妻、高雄、長鯨、愛宕

【舞鶴】 初雪、白雪、帆風  
伊五二

【佐世保】 檫名、那智、北上、磐手、名取、常磐、千歳

梨、竹、榎、桃、柳、楡、董、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、満潮、朝潮、荒潮、文月、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、伊六六、伊六七

雁、敷島、野島、(明石)

【長崎】 羽黒、佐多

(利根)、(筑摩)

【鎮海】 葦、柿、楡

【作業地】 出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、沖島、川内、足柄、球磨、妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀

【航海中】

室戸 (三日横須賀發—佐世保へ)  
膠州 (四日「サイパン」發—横須賀へ)  
鳴戸 (六日伊勢灣發—横須賀へ)

神威、能登呂、駒橋、勝力、栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、水無月、長月、葛、藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、追風、疾風、蓼、島風、沙風、灘風、阜月、隼、鶴、鴻、初雁、千鳥、友鶴、真鶴、鳩、鷺、雉、掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、朝日、洲崎、鶴見、知床、尻矢

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十三年九月六日(火)  
海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第一三六四號ノ五

臨時海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和十三年九月五日

海 軍 大 臣

臨時海軍購買名簿之部

二 金屬、材料類第三七項中住友機械製作株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ新居濱市乙三一ニ改ム

二 金屬、材料類第四〇項ノ二中「株式會社大同電氣製鋼所」ヲ「大同製鋼株式會社」ニ、所在地及工場所在地ヲ名古屋市港區龍宮町一〇ニ改ム

三 機械、器具類第一七項中「日東冷管工業株式會社」ヲ「日東航空機器株式會社」ニ改ム

九 石綿、珪綿類第四項中株式會社安藤石綿パツキング製造所ノ所在地ヲ神戸市須磨區鷹取町二丁目五ニ改ム

一三 ペイント及原料類第二項ノ七中「北河豐次郎」ヲ「株式會社北河製品所」ニ改メ工場名ヲ削ル

海軍公報(部内限) 號外

0817

二〇 ベルト類第二項中東海護謨工業株式會社ノ行ヲ削ル  
部外祕臨時海軍購買名簿之部

五 魚雷之部第一九項、二七 航空兵器之部第四七項及同第四八項中「株式會社大同電氣製鋼所」ヲ「大同製鋼株式會社」ニ、所在地及工場所在地ヲ名古屋市港區龍宮町一〇ニ改ム

二〇 無線電信電話之部(兵器) 第二六項ノ二中東京電氣無線株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ川崎市柳町一二八四ニ改ム

二〇 無線電信電話之部(兵器) 第三九項中「狐崎武夫」ヲ「狐崎合名會社」ニ改メ工場名ヲ削ル

0818

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十三年九月六日(火)  
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一二九一號ノ五

海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和十三年九月五日

海 軍 大 臣

- 一 地金、礦石類第八項、同第九項、同第一〇項、同第一一項、同第一二項、同第一三項、同第一四項並ニ二 金屬、材料類第三四項、同第三五項、同第三七項、同第三九項、同第四一項、同第四二項及同第四四項中「株式會社大同電氣製鋼所」ヲ「大同製鋼株式會社」ニ所在地及築地工場ノ所在地ヲ名古屋市港區龍宮町一〇ニ改ム
- 三 機械、器具類第四項中「加藤純吾」ヲ「株式會社加藤精機製作所」ニ改ム
- 三 機械、器具類第九項中株式會社齋藤ツキストドリル製作所ノ所在地及工場所在地ヲ東京市蒲田區原町四四〇ニ改ム
- 三 機械、器具類第一四項中大阪製鎖造機株式會社ノ工場名欄前川工作機工場ノ行ヲ削ル

海軍公報(部内限)號外

0819

- 三 機械、器具類第一六項及同第一八項中「株式會社三鷹内燃機製作所」ヲ「三鷹航空工業株式會社」ニ改ム
- 三 機械、器具類第一八項中三菱重工業株式會社ノ工場名「名古屋航空機製作所」ヲ「名古屋發動機製作所」ニ改ム
- ニ、工場所在地ヲ名古屋市東區大幸町字沖中九九八ニ改ム
- 四 電氣機械、器具、材料類第五六項中東京電氣無線株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ川崎市柳町一二八四ニ改ム
- 七 コークス類第一項中日本化成工業株式會社ノ工場名欄ニコークス工場ヲ加ヘ工場所在地ヲ八幡市大字藤田字五段新開二四四七ニ改ム
- 八 煉瓦類第三項中日本クローム工業株式會社ノ行ヲ削ル
- 一二 油脂、蠟類第一一項並ニ一三 ペイント及原料類第一項ノ一、同第一項ノ二、同第二項ノ五、同第三項ノ一、同第三項ノ二、同第四項ノ一、同第四項ノ二、同第五項ノ二、同第五項ノ三及同第九項ノ四中「東亞ペイント製造株式會社」ヲ「東亞ペイント株式會社」ニ改ム
- 一三 ペイント及原料類第二項ノ四、同第一三項ノ一及一四 藥品類第五項中「北河豊次郎」ヲ「株式會社北河製品所」ニ改メ工場名ヲ削ル
- 一七 雜品類第四項中「東洋金屬食器株式會社」ヲ「東洋金屬工業株式會社」ニ改ム

0820

# 海軍公報

(部内限) 第三千七號

海軍大臣官房

昭和十三年九月七日(水)

## ○令 達

官房密機第一四號ノ八九

昭和十三年九月七日

海軍大臣

各鎮守府司令長官  
舞鶴要港部司令官

兵器簿ノ件通達

艦船部隊、特設艦船部隊兵器簿飛行長主管ノ部中左記ノ通改正ス

記

八九式落下傘二型(雜記欄)ニ「九七式落下傘二型ヲ代用スルコトヲ得」ヲ加フ

官房第四五七六號

規 則

當分ノ間記左ニ依リ罐詰飯ヲ換給スルコトヲ得

昭和十三年九月七日

海軍大臣

一、換給ノ範圍

航空機搭乗員又ハ潜水艦乗員ニ對シ本品ヲ給スルノ必要アルトキ

二、給與量額

(1) 罐詰飯(白飯、赤飯)

一罐量額 飯 四六〇瓦

一罐ヲ一人一食分トシ規定ノ主食品ニ換給ス

(2) 罐詰肉菜混飯(肉野菜混飯)

一罐量額 飯 四六〇瓦

肉 七〇瓦

野菜 一一〇瓦

一罐ヲ一人一食分トシ漬物ヲ除キタル規定ノ糧食品ニ換給ス

品ニ換給ス

(3) 罐詰野菜混飯(野菜混飯)

一罐量額 飯 四六〇瓦

野菜 一一〇瓦

一罐ヲ一人一食分トシ換給ハ(2)ニ同シ但シ貯藏獸

海軍公報(部内限) 第三千七號 昭和十三年九月七日

一〇五三

0821



肉又ハ貯藏魚肉一〇〇瓦以内ヲ併給スルコトヲ得

○通牒

軍需糧第八〇號

昭和十三年九月七日

海軍省軍需局  
海軍省經理局

關係各應御中

罐詰飯整理方ノ件通牒

今般官房第四五七六號ヲ以テ罐詰飯換給ノ件發令相成候處之ガ整理ニ關シテハ左記ニ依リ處理相成度

記

- 一、本品整理上ノ品名ハ「罐詰飯」、「罐詰肉菜混飯」又ハ「罐詰野菜混飯」トス
- 二、糧食品支出簿適宜ノ部ニ本品ノ項ヲ設ケ記入シ記事欄ニ「昭和十三年官房第四五七六號ニ依リ換給」ノ旨記入スルコト

軍需機密衣第四四號

昭和十三年九月七日

海軍省軍需局  
海軍省經理局

關係各應御中

服役延期者ニ對スル被服交付交換取扱方

ニ關スル件通知

昭和十三年官房機密第四六九五號ニ依リ當分ノ間服役ヲ延期セラレタル者ニ對スル首題ノ件ハ延期解止發令迄ハ海軍給與令施行細則第十一表備考第五號ニ拘ハラズ交付交換ノコトニ取計ハレ度

(參照) 昭和十三年八月二十九日海軍公報(部内限)

人祕第五號ノ四

昭和十三年九月七日

海軍省人事局長

關係各應長殿

張鼓峰附近日「ソ」衝突事件功績調査

ニ關スル件通牒

今次張鼓峰附近日「ソ」兵衝突ノ事件ニ關スル論功行賞ニ關シテハ支那事變トシテ取扱ヒ得ルコトト相成候條該事件ニ關スル功績事項ハ便宜支那事變功績調査書類ニ併記スルコトニ取計ハレ度

航本機密兵第五〇四號

昭和十三年八月二十四日

海軍航空本部總務部長

0822

佐世保海軍軍需部長殿

外戦部隊ヨリ還納ノ器材處理ニ關スル  
件回答

佐軍需機密兵第二一八八號照會首題ノ件ハ兵器經理規  
程第二十七條ニ依リ處理差支無之候

佐軍需機密兵第二一八八號

昭和十三年五月十七日

佐世保海軍軍需部長

海軍航空本部總務部長殿

外戦部隊ヨリ還納ノ器材處理ニ關スル  
件照會

首題ノ件ニ關シテハ昭和十三年一月四日佐軍需機密兵  
第五八號ニ依リ照會ノ通外戦部隊ヨリ當部ニ還納スベ  
キ器材ニ對シ莫大ナル數量ノ處理ヲ迅速ニシ爾後ノ修  
理ヲ速カナラシムル爲全部損品還納受ノ上昭和十二年  
十月六日航本機密第二八三四號通牒(修理分擔區分ニ  
關スル件)ニ依リ夫々各工作廳所在軍需部へ損品保轉  
致居ル實狀ニ有之候ニ就テハ右當部へ還納受ハ兵器  
經理規定第二十七條ニ依リ整理ノコトニ差支無之哉貴  
部ノ意向承知致度

追テ右ニ關シ航本通牒發布等可然御取計ヲ得度

佐軍需機密兵第五八號

昭和十三年一月四日

佐世保海軍軍需部長

支那方面艦隊參謀長  
第一、四各艦隊參謀長殿  
第一、二各聯合航空隊司令官殿  
第一、三、四各航空戰隊司令官殿

外戦部隊用毀損竝ニ不用航空兵器處理  
ノ件照會

外戦部隊供用若ハ貸與中ノ飛行長竝ニ整備長主管兵器  
ニシテ毀損其ノ他ノ理由ニ依リ佐世保方面ニ返送ヲ要  
スルモノハ爾後ノ補給竝ニ整理等ノ處置ヲ迅速確實ナ  
ラシムル爲直接當部ニ還納手續ヲナスト共ニ現品ヲ最  
近便ニテ發送相成様御取計ヲ得度

追テ工作廳修理ヲ要スルモノハ當部ヨリ手續致スベ  
ク候條還納理由毀損不足品ノ狀況等ヲ記載ノ上來原  
簿ヲ有スルモノハ之ト共ニ現品ト同時ニ到着スル様  
御配慮ヲ得度

寫送付先 海軍航空本部總務部長、佐世保海軍工  
廠總務部長、木更津、鹿屋、第十二、

第十三各航空隊司令、加賀、龍驤、能登呂、神威、神川丸、香久丸、衣笠丸、足柄、妙高、多摩、沖島、出雲、長良、球磨各艦長

○雜款

○第四十一驅逐隊(山雲缺)行動豫定

地名 着 發  
横須賀 九月九日 九月七日  
別府 九月九日 十月十日  
横須賀 九月九日 十月十日

○暹羅國砲艦「トンプリ」行動豫定

地名 着 發  
神戸 九月十一日 九月十一日  
横濱 九月十二日 九月十八日  
備考 同艦ハ本國へ廻航ノ途次横濱ニ非公式寄港スルモノニシテ禮砲不施行ノモノナリ

○郵便物發送先

第四十一驅逐隊(山雲缺)宛  
九月十二日迄ニ到達見込ノモノハ  
横須賀郵便局留置

軍艦大井宛

九月八日迄ニ到達見込ノモノハ 徳

同 十二日迄ニ 同

同 十五日迄ニ 同

同 十九日迄ニ 同

同 二十二日迄ニ 同

其ノ後ハ 同 吳

山 山 山

○艦裝具事務所設置

測天艦裝具事務所ヲ三菱重工業株式會社横濱船渠内に設置シ八月二十九日ヨリ事務ヲ開始セリ

○電信電報ニ關スル件

當分ノ間殘留隊宛ノ電報ハ總テ佐世保海軍通信隊經由ノコトニ取計ハレ度

(鹿屋海軍航空隊)

0824

○艦船所在

▲印ハハホテ  
指定ヲ要セズ

○九月七日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張▲、鳳翔▲、五十鈴▲、山城▲、春日▲

▷八雲、長門▲、木曾、赤城、大鯨

▷曉▲、漣▲、狹霧▲、伊響▲、雷、電▲、山雲、

沖風

□伊七〇、伊六八、伊六九、□伊六三、

伊五九、伊六〇、□伊六四、伊六一、

伊六二

掃二

富士▲、攝津

(飛龍)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】

旗風、春風、□秋風、羽風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六、呂五八、

□伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風▲

【横濱】

掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲ (霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

野風、沼風、波風、早苗

【函館】

若竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、淀、

0825

淺間、扶桑▲、最上、古鷹、加古

夕顔、吳竹、□菊、葵、萩、□磯波▲、浦波▲

敷波▲、綾波▲、吹雪、▷矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲、呂二八、

呂三三、呂三四、伊五一、伊五三▲

伊五五▲、伊七一、伊六五、□伊五六、

伊五七、伊五八、□伊七二、伊七三、

伊一二一、伊一二二、伊七四

石廊、隱戸

(千代田)▲

神戶 伊五四、呂五七、呂五九▲

(瑞穂)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(伊一六)▲

相生 襟裳▲、早鞆▲

玉 (掃七)▲

因ノ島 朝風▲、松風▲

江田内 平戸▲

安下庄 大井

刻鶴 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

初雪▲、白雲▲、帆風▲

伊五二▲

(霞)▲

佐世保 榛名▲、那智▲、北上▲、磐手、名取、常磐、

▷千歲

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、楡▲、蕈▲、□夕風▲

朝風▲、□若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

大湖▲滿湖▲朝湖▲荒湖▲ 文月、峯風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四▲、呂六五▲、

呂六七▲、呂六八▲、呂六三▲、伊六六▲、

伊六七▲

雁▲

敷島▲、野島

(明石)▲

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】

【作業地】

比良、保津、熱海、二見、殿島、八重山、

白鷹、沖島、川内、足柄、球磨、

妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、

神威、能登呂、駒橋、勝力

栗、梅、逆、夕立、村雨、春雨、五月雨、

白霧、有明、夕暮、時雨、江風、海風、

涼風、山風、水無月、長月、葛、薄、

藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、

望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、

菱、島風、汐風、灘風、皐月

隼、鶴、鴨、鴻、初雁、千鳥、友鶴、

真鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、洲崎、鶴見、知床、尻矢

【航海中】

室戸 (三日横須賀發—佐世保へ)

膠州 (四日「サイパン」發—横須賀へ)

迅鯨 (六日横須賀發—佐世保へ)

陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂、由良、

鬼怒、鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、神通、

阿武隈、蒼龍、龍驤、龍、曙、潮、天霧、夕霧、

朝霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、陸月、彌生、

如月、卯月、伊七、伊一、伊二、伊三、伊六、

伊四、伊五、鳴戸 (六日伊勢灣發—横須賀へ)

夏雲、朝雲、峯雲 (七日横須賀發—別府へ)

間宮 (七日伊勢灣發—横須賀へ)

0826

# 海軍公報 (部内限) 第三千八號

昭和十三年九月八日(木)  
海軍大臣官房

0827

## ○令達

官房機密第四九〇四號

昭和十二年官房機密第二六二七號中左ノ通改正ス

昭和十三年九月八日

海軍大臣

航空本部關係兵器以外ノ兵備品ノ欄中木更津航空隊ノ所管鎮守府「佐世保」ヲ「横須賀」ニ改ム

### 附則

本改正ハ昭和十三年八月二十三日ヨリ之ヲ適用ス

(参照) 昭和十二年官房機密第二六二七號ハ今次事變ノ爲特設聯合航空隊特設航空隊等ニ要スル兵備品ノ所管區分ノ件ナリ

官房第四九五五號ニテ本號廢止  
航空機航空スルトキハ海軍給與令施行細則第二百二十九條第一項ノ規定ニ拘ラズ左記ニ依リ不時著糧食ヲ搭載シ必要ニ應ジ給與スルコトヲ得

食料ノ支給ヲ受クル者前項ノ給與ヲ受ケタルトキハ食數ニ應ジ食料ヲ支給セズ

昭和十三年九月八日

海軍大臣

### 一、品種、量額及容器等

- (1) 主食品ハ砂糖入乾麴麩又ハ罐詰飯(罐詰肉菜混飯、罐詰野菜混飯ヲ含ム)、副食品ハ肉菜混合煮罐詰其ノ他適宜ノ品種トス  
前項糧食品ノ量額ハ三食分ニ付海軍給與令施行細則第二十表基本食日額ノ合計額ニ旬額合計額ノ十分ノ一ヲ加ヘタル量額ノ範圍内トス
  - (2) 容器ハ強靱ニシテ浮力アルモノトシ一個ノ内容ヲ六食分トス
  - (3) 容器中ニハ罐切、箸其ノ他喫食上必要ナルモノヲ添附ス
- 二、搭載標準  
行動地域ニ依リ必要ニ應ジ搭乗員ニ對スル三分以

海軍公報 (部内限) 第三千八號 昭和十三年九月八日

一〇五九

内ヲ標準トシテ搭載ス

三、給 與

不時著ノ場合必要ニ應ジ給與ス

四、整理單位

本品ハ整理上一食ヲ以テ單位トス

○ 通 牒

軍需糧第八一號

昭和十三年九月八日

昭和中の年糧第七ニ  
テ本號廢止

海軍省軍需局  
海軍省經理局

關係各廳御中

不時著糧食整理方ノ件通牒

今般官房第四五九五號ヲ以テ不時著糧食ノ件發令相成候處之ガ整理ニ關シテハ左記ニ依リ處理相成度

記

一、本品ノ品名ハ「不時著糧食」トシ通常物品トシテ整理ス

二、糧食品支出簿適宜ノ部ニ本品ノ項ヲ設ケ供食數ヲ記入シ記事欄ニ「昭和十三年官房第四五九五號ニ依リ給與」ノ旨記入スルコト

○ 辭 令

海軍武功調査委員ヲ命ス

海軍大佐 岩淵 三次

昭和六年乃至九年事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス

(八海軍省)

報道部第三課長ヲ命ス(請 大本營海軍部)

海軍大佐 加藤 尙雄

通信部第十課勤務ヲ命ス(九海軍省)

海軍中尉 吉村 一友

○ 雜 款

○特設運送船金龍丸行動豫定

地名	着	發
吳地		
西戶	九月六日	九月五日
鎮海	八月八日	八月八日
佐世	十二月十二日	十二月十三日
横須賀	十二月十五日	十二月十七日
新宮	十二月十八日	十二月十八日
佐保	十二月十九日	十二月二十一日
吳世	十二月二十二日	十二月二十六日

0828

神 戸 二十六日  
大 阪 九月二十八日  
横 須 賀 九月三十日  
九月二十九日

○懲罰

懲罰言渡書

○正誤 (補)  
本月六日通牒欄經契第三號ノ四四〇ノ二更改契約書中  
「三月二十一日」ハ「三月三十一日」ノ誤

○本日普通公報發行セズ

海軍公報(部内限)第三千八號 昭和十三年九月八日

一〇六一

0829



○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲ラ  
定▲ヲ▲要▲セ▲ズ

○九月八日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張▲風翔▲五十鈴▲山城▲春日▲  
長門▲木曾、赤城、大鯨、口陸奥、日向、  
伊勢、▽霧島、金剛、▽那珂、由良、鬼怒、  
口鳥海、摩耶、▽熊野、鈴谷、三隈、▽神通、  
▽阿武隈、▽蒼龍、龍驤

▽曉▲漣▲狹霧▲▽響▲雷、電▲山雲、  
沖風、▽陸月、彌生、如月、卯月

▽伊七、▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、  
伊五、▽伊七〇、伊六八、伊六九、  
▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、  
伊六一、伊六二

掃二  
富士▲攝津、鳴戸、間宮  
(飛龍)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

▽旗風、春風、▽秋風、羽風、神風、▽隴、  
曙、潮、▽天霧、夕霧、朝霧、▽白雲、  
薄雲、叢雲、東雲

▽伊一二三、伊一二四  
呂五四、呂五五、呂五六、呂六六、呂五八、  
呂五九

【石川島】

太刀風▲

【横濱】

掃五▲掃六▲

【浦賀】

夕風▲

【館山】

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲  
澤風▲

【大湊】

▽野風、沼風、波風、早苗  
大泊

【函館】

若竹▲  
矢矧、韓崎、比叡▲衣笠、青葉、淀、  
淺間、扶桑▲最上、古鷹、加古

【吳】

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽磯波▲浦波▲  
敷波▲綾波▲吹雪、▽矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲呂二八、  
呂三三、呂三四、伊五一、伊五三▲  
伊五五▲伊七一、伊六五、▽伊五六、  
伊五七、伊五八、▽伊七二、伊七三、  
伊一一一、伊一二二、伊七四  
石廊、隱戸

【神戸】

(千代田)▲(伊一六)▲  
▽伊五四▲呂五七▲呂五九▲  
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

襟裳▲早鞆▲

【玉】

(掃七)▲

【因ノ島】

朝風▲松風▲

【江田内】

平戸▲

【徳山】

大井

【舞鶴】

吾妻▲高雄▲長鯨▲愛宕▲

海軍公報(部内限) 第三千八號 昭和十三年九月八日

一〇六三

0830

▽初雪▲、白雪▲、帆風▲

伊五二▲

(叢)▲

【佐世保】

榛名▲、那智▲、北上▲、磐手、名取、常磐、

▽千歳

梨▲、竹▲、樺▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、▽夕風▲

朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

▽大湖▲、滿潮▲、朝潮▲、荒潮▲、文月、峯風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六五▲、

呂六七▲、▽呂六八、呂六三、▽伊六六▲、

伊六七▲

雁▲

敷島▲、室戸

(明石)▲

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】

▽葦、柿、楡

【作業地】

▽出雲、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、熱海、二見、▽嚴島、八重山、

白鷹、沖島、▽川内、▽足柄、▽球磨、

▽妙高、多摩、▽天龍、龍田、▽長良、▽加賀、

▽神威、能登呂、駒橋、勝力

栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、

【航海中】

膠州 (四日「サイパン」發—横須賀へ)

迅鯨 (六日横須賀發—佐世保へ)

▽夏雲、朝雲、峯雲 (七日横須賀發—別府へ)

▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、

涼風、山風、▽水無月、長月、▽葛、薄、

藤、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、

望月、三月月、▽追風、疾風、▽蓼、蓬、

菱、▽島風、沙風、灘風、臯月

▽隼、鵠、鴨、鴻、▽初雁、千鳥、友鶴、

真鶴、▽鳩、鷺、雉

▽掃一、掃三、掃四、▽掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、

朝日、洲崎、鶴見、知床、尻矢、野島

0831

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千九號

昭和十三年九月九日(金)

海軍大臣官房

## ○ 令 達

官房第四六一〇號

提

海軍航空隊殘留隊ニ要スル艦營需品及燃料ハ昭和十二年官房第二六六四號ニ拘ラズ告知豫算内處辨トシ燃料及行動用消耗品豫算ハ燃料經理規程第四條及艦營需品經理規程第十條ノ規定ニ拘ラス所管長官ニ告達ス  
本令ハ昭和十三年八月二十三日ヨリ之ヲ適用ス  
昭和十三年九月九日

海 軍 大 臣

## ○ 辭 令

海軍技術會議議員海軍少佐 根木 純一  
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(海軍省)

## ○ 雜 款

○ 郵便物發送先

軍艦勝力宛  
九月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ  
共ノ後ハ  
馬公郵便局氣付

海軍公報(部内限) 第三千九號 昭和十三年九月九日

一〇六五

0832

○艦船所在

▲印ハハハ  
指定ヲ要セズ

○九月九日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張▲、鳳翔▲、五十鈴▲、山城▲、春日▲、長門▲、木曾、赤城、八雲、大鯨、口陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂、由良、鬼怒、口鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、神通、阿武隈、蒼龍、龍驤、曉、漣、狹霧、響、雷、電、山雲、沖風、陸月、彌生、如月、卯月、隴、潮、伊七、伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二

掃二

富士▲、攝津、鳴戸、間宮

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

旗風、春風、秋風、羽風、曙、天霧、夕霧、朝霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、呂五四、呂五五、呂五六、呂六六、呂五八、伊一三三、伊一二四

【石川島】

太刀風▲

【横濱】

掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲

(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

野風、沼風、波風、早苗

大泊

【函館】

若竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、最上、古鷹、加古、夕顔、吳竹、菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、吹雪、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、呂三三、呂三四、伊五一、伊五三、伊五五、伊七一、伊六五、伊五六、伊五七、伊五八、伊七二、伊七三、伊一二一、伊一二二、伊七四

石廊、隱戸

(千代田)▲、(伊一六)▲

神戶、伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

相生、襟裳、早鞆

【相玉】

(掃七)▲

【因ノ島】

朝風▲、松風▲

【江田内】

平戸▲

【舞鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

【初雪】

白雪▲、帆風▲

【伊五二】

(霞)▲

【佐世保】

榛名▲那智▲北上▲名取、常磐、千歳、  
迅鯨

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲重▲夕風▲

朝風▲  
朝風▲  
朝風▲  
朝風▲

大朝▲滿潮▲朝潮▲荒潮▲文月、峯風

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六〇▲

呂六一▲呂六二▲呂六四▲呂六五▲

呂六七▲呂六八▲呂六三▲伊六六▲

伊六七▲

雁▲

敷島▲

(明石)▲

磐手▲

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

【作業地】  
葦、枴、楡

出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、熱海、二見、嚴島、八重山、

白鷹、沖島、川内、足柄、球磨、

妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、

神威、能登呂、駒橋、勝力

栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、

白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、

涼風、山風、水無月、長月、鳶、薄、

【航海中】

膠州(四日「サイパン」發—横須賀—)

夏雲、朝雲、峯雲(七日横須賀發—別府—)

室戸(八日佐世保發—吳—)

大井(九日徳山發—吳—)

神風(九日長浦發—相模灣—)

藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、

望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、

菱、島風、汐風、灘風、阜月

隼、鶴、鴨、鴻、初雁、千鳥、友鶴、

真鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、洲崎、鶴見、知床、尻矢、野島

0934

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千十號

昭和十三年九月十日(土)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房第四六一七號

昭和十三年九月八日

水雷艇艦修理ノ爲佐世保在泊中同艇ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ第十一水雷隊附主計科士官ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十三年九月八日

海軍大臣

## ○通 牒

官房第四五四七號ノ五

昭和十三年九月十日

海軍省副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫眞撮影

ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコトト御了知

相成度

記

一、報國第一九五號(北千島水産號)

機 種 艦上戦闘機

座 席 一

全 幅 一一・〇米

全 長 七・五米

全 高 三・〇米

報國第二三五號(第二北海道號)

報國第二三六號(第三北海道號)

機 種 艦上攻撃機

要目發表セズ

二、寫眞撮影 禁止

## ○辭 令

海軍豫備大尉 中島 武一

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(海軍省)

海軍公報(部内限) 第三千十號 昭和十三年九月十日

一〇六九

0835

<p>第三艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(ハカ同)          西川 蕪          第四艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(ハカ同)          海軍機關大佐 佐波 次郎          軍需品平時生産協定中央委員會委員ヲ命ス          石龜 敏造          支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上請同)</p>	<p>地名 着 發          東舞鶴 九月十七日 九月十五日          吳          第十一驅逐隊及(吹雪、初雪缺)宛          九月十四日迄ニ到達見込ノモノハ          其ノ後ハ          驅逐艦吹雪宛 吳          從前通 吳          驅逐艦初雪、隊主計長宛 東舞鶴          從前通 東舞鶴</p>
<p>○雜款          ○旗艦復歸          第一潜水戰隊司令官ハ九月八日旗艦ヲ伊號第七潜水艦ヨリ大鯨ニ復歸セリ          ○司令驅逐艦一時變更          第十九驅逐隊司令ハ九月八日司令驅逐艦ヲ一時磯波ヨリ浦波ニ變更セリ          第二十一驅逐隊司令ハ九月八日司令驅逐艦ヲ一時若葉ヨリ初春ニ變更、同日復歸セリ          ○驅逐艦白雪行動豫定</p>	<p>○正誤          九月三日號外令達欄官房第三五六號ノ五公稱番號中「第三四九二號、第三四九三號、第三四九四號」ハ「第一〇八九號、第一〇九〇號、第一〇九一號」ニ、自第三五〇九號至第三五一九號ノ項中「佐世保防備隊」ハ「佐世保防備隊(第三艦隊司令部供用)」ノ誤</p>

0836

○聯合艦隊館山灣在泊中交通艦派出區分

月日	曜	横須賀發	館山着	館山發	横須賀着	派出艦	記事
九一三	火		一一四五	一六〇〇	一八四五	$\frac{d \times 1}{2sd}$	侍從武官
九一四	水	一〇〇〇				$\frac{d \times 1}{2sd}$	乗
九一五	木	一四〇〇	一五四五	〇八三〇	一〇一五		
九二三	金			夜	夜		時刻別令
九二四	土	一〇〇〇	一一四五			鳴戸	

(備考)

- 一、館山灣發着ノ際ハ陸奥錨地附近ヲ經由便乗者ヲ乘退艦セシムルモノトス但シ鳴戸ハ此ノ限ニ非ズ
- 二、館山發時刻ハ研究會終了時刻ノ關係上變更スルコトアリ
- 三、本表ノ外九月二十日午後館山發横須賀着九月二十二日午後横須賀發館山着ノ間宮便アリ

0837



○艦船所在

▲印(コホホ)  
指定ヲ要セズ

○九月十日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、

長門、赤城、八雲、大鯨、陸奥、日向、

伊勢、霧島、金剛、那珂、由良、鬼怒、

口鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、神通、

阿武隈、蒼龍、龍驤

曉、漣、狹霧、響、雷、電、山雲、

沖風、睦月、彌生、如月、卯月、朧、潮

伊七、伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、

伊五、伊七〇、伊六八、伊六九、

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、

伊六一、伊六二

掃二

富士、攝津、鳴戸、間宮

(飛龍)、(劍埼)、(高崎)

【長 浦】

旗風、春風、秋風、羽風、神風、曙、天霧、

夕霧、朝霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六、呂五八、

伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風

【横 濱】

掃五、掃六

【浦 賀】

夕風、(霞)、(不知火)、(掃八)

【館 山】

澤風、野風、沼風、波風、早苗

【大 湊】

大泊

【函 館】

若竹

【吳 館】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、

淺間、扶桑、最上、古鷹、加古、大井

夕顔、吳竹、菊、葵、萩、浦波、磯波、

敷波、綾波、吹雪、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、

呂三三、呂三四、伊五一、伊五三、

伊五五、伊七一、伊六五、伊五六、

伊五七、伊五八、伊七二、伊七三、

伊一一一、伊一二二、伊七四

石廊、隠戸

(千代田)、(伊一六)

神 戸、伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂)、(伊八)、(伊七五)

相 生、襟裳、早鞆

玉、(掃七)

因ノ島、朝風、松風

江田内、平戸

別 府、夏雲、朝雲、峯雲

舞 鶴、吾妻、高雄、長鯨、愛宕

伊初雪、白雪、帆風

伊五二

【佐世保】

(籤)▲

榛名▲、那智▲、北上▲、名取、常磐、▽千歲、  
迅鯨

梨▲、竹▲、榧▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、▽夕風▲、  
朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、

▽大潮▲、滿潮▲、朝潮▲、荒潮▲、文月、峯風  
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六五▲、  
呂六七▲、▽呂六八、呂六三、▽伊六六▲、  
伊六七▲

雁▲

敷島▲

(明石)▲

【寺島水道】

磐手

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】

▽葦、柿、榆

【作業地】

▽出雲、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、  
比良、保津、熱海、二見、▽殿島、八重山、  
白鷹、沖島、▽川内、▽足柄、▽球磨、  
▽妙高、多摩、▽天龍、龍田、▽長良、▽加賀、  
▽神威、能登呂、駒橋、勝力  
▽栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、  
▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、

【航海中】

膠州

室戸

木曾

(四日「サイパン」發—横須賀へ)

(八日佐世保發—吳へ)

(九日横須賀發—室蘭へ)

涼風、山風、▽水無月、長月、▽葛、薄、  
藤、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、  
望月、三日月、▽追風、疾風、▽蓼、蓬、  
菱、▽島風、沙風、灘風、阜月  
▽隼、鶴、鴨、鴻、▽初雁、千鳥、友鶴、  
眞鶴、▽鳩、鷺、雉  
▽掃一、掃三、掃四、▽掃一六、掃一三、  
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八  
朝日、洲崎、鶴見、知床、尻矢、野島

0839